

ユイメール



社会福祉法人よつばの就労移行支援事業所、就労支援センターユイメールが、4月から柏駅徒歩5分の場所に移転しました。今回は、管理者で就労支援員の湯谷さんにお話を伺いました。

どんな方が対象ですか？

おもに精神障害を持たれている方が対象ですが、知的・発達障害を持たれた方、特別支援学校卒業の方等幅広く多くの方の受け入れを行っています。4月から定員は、20名で、現在利用者は12名いらっしゃいます。

開所時間は？

月曜日から金曜日の9:30~16:00までです。土日・祝祭日は閉所になります。

どんな内容ですか？

午前中は、主に座学中心のプログラムとなり、午後は作業を中心としたプログラムを行っています。特徴的なプログラムの1つは「総合力実践プログラム」です。事業所内に会社を2社作り、報告・連絡・相談等の職業訓練や、それぞれの役割・分担を決め、段取りを組み、他の方と強調して会社の実務に取り組んでいきます。実際の会社のように取り組んでいきます。「仕事は早く正確に」を目標にプログラムは進められます。

それ以外にも、「就労前準備訓練」があります。履歴書の書き方や面接の練習等、個別目標を立てて、プログラムを行っています。また、「物流倉庫でのピッキング」や「大学での清掃実習」もあります。その他のプログラムとして公園清掃や、スポーツで体力作り等も行っています。

最後に一言お願いします。

ユイメールでは、個人個人に合った「個別プログラム」を重点的に取り組むことにより、就労実績を上げています。また、「最初の窓口相談から、就労定着まで」、トータルコーディネートできることが特徴です。安心して皆様にご利用いただけると考えています。柏駅近くに移転して心機一転、さらに「支援の質の向上」を心がけ、スタッフ一同、支援を行っています。

感想

交通の便が良くなり通いやすくなり、利便性が良くなったことで体験見学の方が増えてきているようです。生活訓練や就職のための実践的訓練以外にも、日常生活でのことも相談できる事、支援の質の向上に力を入れている事がお話を伺って感じました。

社会福祉法人よつば よつば就労支援センター 就労移行支援 ユイメール
千葉県柏市明原 1-2-4 第二田中ビル 2F
TEL : 04-7197-2507
URL : <http://www.kashiwa-yotsuba.jp/>

「じんけん」ほん

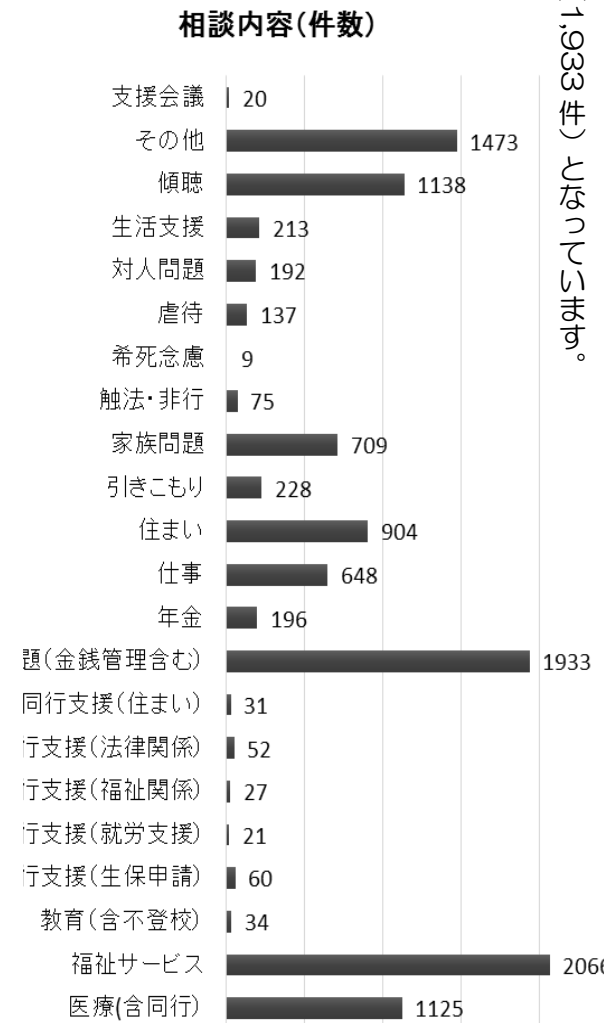
5 (2014.5/ NO.121)

〔発行〕 社会福祉法人 生活クラブ
柏市地域生活支援センター あいネット
〒277-0004 柏市柏下 65-1 ウェルネス柏内
TEL04-7165-8707 FAX04-7165-8709
HP:<http://ai-net.a.la9.jp/> e-mail: ainet@kazenomura.jp

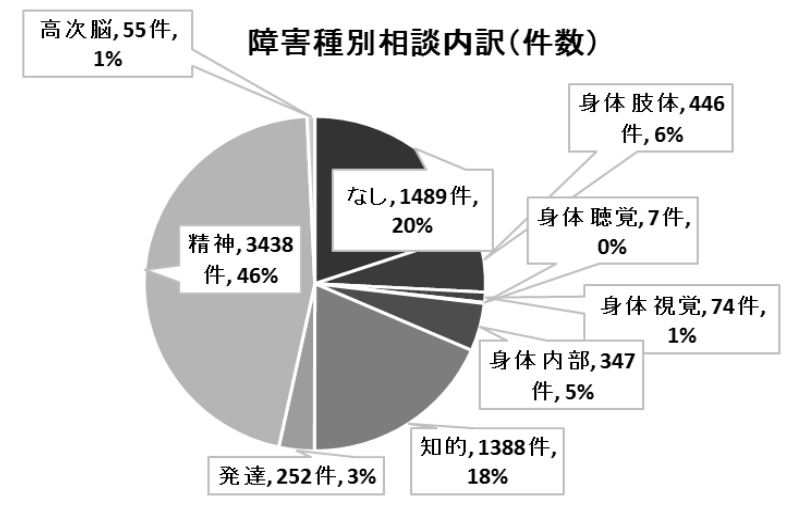
平成25年度を振り返って

平成25年度が終わり、新年度を迎えました。関係各機関の方々には大変お世話になり誠にありがとうございました。平成25年度のあいネットへの相談内容をデータから振り返ってみたいと思います。

平成25年4月から、平成26年3月までの12カ月の間に扱った総相談件数は、7,136件でした。月の平均は595件です。相談者の実人数では、1年間で合計1,840人の方が利用されました。そのうち、新規の相談者は合計538名でした。毎月、約45名の方が新規であいネットを利用されています。相談される方の問題領域は、ひとりで複数の問題を抱えているケースが多くあります。昨年度、あいネットに扱った問題領域は、総計11,921件のほりましました。一番多い相談で福祉サービス相談(2,066件)、次いで経済問題(1,933件)となっています。



医療関係、家族問題、経済問題に関連して住まいや仕事の相談も多くなっています。傾聴は、主に精神障害をお持ちの方からの電話が占めています。医療関係は、必要に応じて受診同行をしています。家族問題の件数も多くなっています。あいネットを利用されている方は、障害のある無しに関わらず、様々な方が利用されています。利用内訳では精神障害の方が最も多く、あいネットの利用者の約半数を占めています。次いで知的障害の方の利用が多くなっています。また、障害がある方でも重複して障害がある方も増えてきています。



世帯別でみた相談件数では、単身者世帯が一番多くなっています。ひとり親世帯の相談も増えてきています。また、例年に引き続き、生活保護世帯については、あいネットでも申請同行などを行っています。あいネットを利用した生活保護世帯数は、昨年度は441世帯でした。年齢別・男女別内訳では、30代から40代の方の相談件数が一番多くなっています。男女比は男性が53%、女性が47%になっており、若干男性の利用が多い数になっています。

4月29日 社会福祉法人青葉会・WITH US竣工祝賀会、終了後の内覧会に参加しました。

パンフレットの一部を引用すると、「自閉症者の二人に一人は強度行動障害、あるいはその可能性があり、保護者の二人に一人は子どもも行動障害によって家族がダウンしたり、家庭生活が崩壊してしまおうと強く感じたことがある。その一方で、自閉症者には引きこもりなどの在宅期間の長い方も少なくないことが平成23年度厚生労働省障害者総合福祉推進事業調査でわかった」とあります。あいネットにも家族が疲弊してしまっている相談が寄せられます。せめて家族は障害福祉サービスを利用したくても、それもままならないケースも多くあることから、家族は先が見えないまま抱え込まざるを得ない状況があります。そういう中でWITH USは、強度行動障害の方にも対応するグループホームとして、期待を受けスタートしたところで



WITH USの内覧会に参加して



WITH US は多機能型事業所、グループホーム、短期入所、相談室を展開しています。

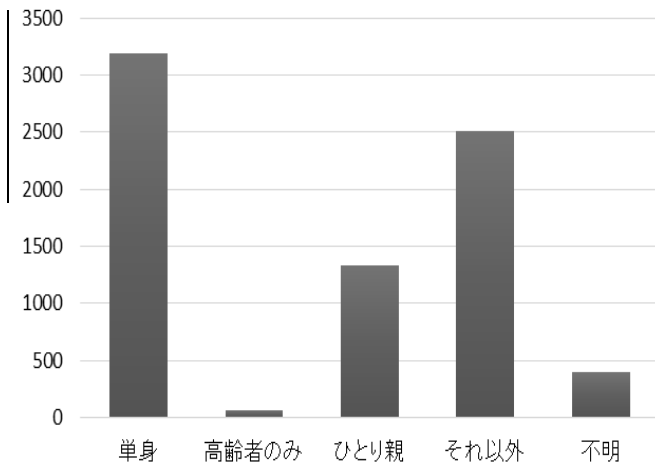
マイクロバスで着いてみると、相談・短期入所棟と作業所棟、そして5棟のグループホーム（以下GH）が二つに分かれて建ち並び、その間のゆとりのある道幅にベンチが置かれていました。小さな街並みがそこにあるといった趣です。それぞれの棟の中に入ると、木を使うことにこだわったという説明通り、どの棟でも木の香が印象的でした。就労系の部屋には、パソコンが何台も用意されていたり、生活介護の部屋では一人ひとりが落ち着けるように間仕切りもあるなど、さまざまなタイプの方を想定した設計の工夫があると感じました。GHの居室のドアには横向きに細い窓がついています。顔を窓に相当近づけなければ中の様子は見えません。それでもそれが気になる入居者なのでしょうか、その窓に目隠しをしている部屋もありました。それぞれの居

定員29名の部屋はほぼ満室のことです。このGHがめざすもののひとつに通過型というコンセプトがあると聞いています。通過型というのはただ入居者が入れ替わることをいうのではなく、地域で支援を受けながら暮らし形としてGHを出てからの住まい方、たとえば一人暮らしやシェアハウスのようなものなども可能性があるのでしょうか。施設ではなくGHという住まいが、強度行動障害の方にとっても地域生活支援として有効であることや、自宅で暮らす家族にとっても、専門性のある相談場所として機能していただきたいと強く思いました。

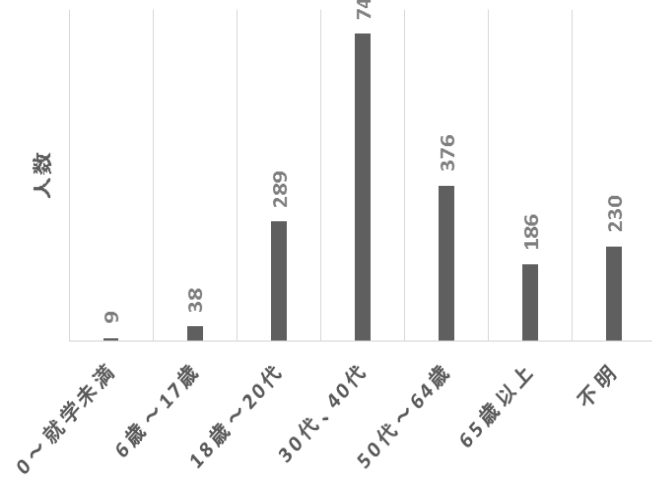


「じんけん」ぽん (2014.5/No 121)

世帯別相談(件数)



年齢別内訳(人数)



以上のデータから、あいネットの利用者の半数は、経済問題、精神疾患を抱える単身の30代から40代の方が多いという結果が読み取れます。

例年に引き続き、このデータの傾向は大きな変化は見られませんが、昨年度より、生活困窮者自立促進支援モデル事業の委託も始めた背景もあり、経済的困窮問題を抱える方の支援が一層増えてきています。

健康問題や心の問題、年齢、雇用情勢、人間関係が苦手などの問題を抱えて上手く働けない方、債務などの金銭問題を抱えているために、働いても困窮からなかなか抜け出せない方が多くなっています。

あいネットでは、そうした方たちの支援機関として「あいネット就労準備支援室」「あいネット家計相談支援事業」を行っております。あいネットでは、今後もさまざまな機関と連携しながら、ひとりひとりの問題を一緒に解決していく方法を探していきたいと考えております。

お知らせ ◇こちらのコーナーへ掲載希望の方は、あいネット（電話：04-7165-8707 FAX：04-7165-8709）まで

講演(イベント)名	日時	場所	費用	申込/問合せ先他